



福崎町商工会報 平成30年10月発行 第48号

やまもも

10

2018 OCTOBER

ひのストア



事業所紹介：株式会社肥野ストア（表紙紹介）

商工会活用事例

がんばる商い人

青年部だより・女性部だより

商工会からのお知らせ

経営の転換期を

株式会社肥野ストアは、福崎町内に2店舗、香寺・市川にも店舗を構える福崎町を代表するスーパー・マーケット。昭和29年設立後、高度成長期とともに成長発展をしてきた。

一般のお客様だけでなく飲食店の取引も多く、時代と共に変わりゆく町民の食生活を支えてきた。しかし、20年少し前から大型スーパーの出店が続き、将来の展望を模索していた。そんなとき、福崎町商工会が“移動販売”をするかもしれないお買物アンケート調査で知り、「経営の転換期になるのではないか」と構想を練り始めた。

肥野ストアでは、買物に来ることができなくなつたお客様から“配達”的注文も年々増えてきており、また同社が運営するネットスーパーも順調に推移している。

これから高齢化がさらに加速し、買物に不便を感じるお客様も少しずつ増えていくなか、「お役に立てるなら」と、商工会の移動販売業務委託に係る

公募説明会に参加、書類審査を経て無事採択となつた。

小さな“移動スーパーふくふくまる”は細い道を走つてお客様の近くまで販売に行くことができる。色々な商品を載せているので見て選んでもらうこと也可能だ。

そんな楽しい買物ができる“移動スーパーふくふくまる”がもうすぐ皆様の地域を訪問する。

「町民の皆さまのご要望とご期待に応えられるか不安もありますが、お客様に喜んでいただけることを想像すると楽しくなります。」と決意を新たに述べられる肥野社長の表情はとても明るかつた。

代表取締役
肥野真行さん



10月から移動販売が はじまります。

福崎町商工会では、福崎町が策定する第5次総合計画（サルビアプラン）において示されている買物困難者対策の一環として、移動販売実証実験を行います。兵庫県の補助制度「商店街ご用聞き・共同宅配事業」（5ヶ年計画）を活用し、平成30年6月に「福崎町お買物に関するアンケート調査」を行い、集計分析結果を参考に、要

望の多い地域を重点的に福崎町と自治会の協力を得て「実証実験事業」として移動販売を開始します。移動販売については、8月に委託業者説明会を開催して公募を行い、株式会社肥野ストアに決定。愛称も一般公募により「移動スーパーふくふくまる」に決定し、10月12日からスタートします。

「福崎町お買物に関するニーズ調査事業」実施概要

【名称】

移動販売の実施を目的とした福崎町お買物に関するアンケート

【実施目的】

買物弱者対策として移動販売に取り組むため、その必要性や町民の買物ニーズを探る。

【調査期間】

平成30年6月7日(木)～平成30年6月30日(土)

【調査方法】

アンケート用紙を各地区自治体を通じて1世帯に1部個別配布する。

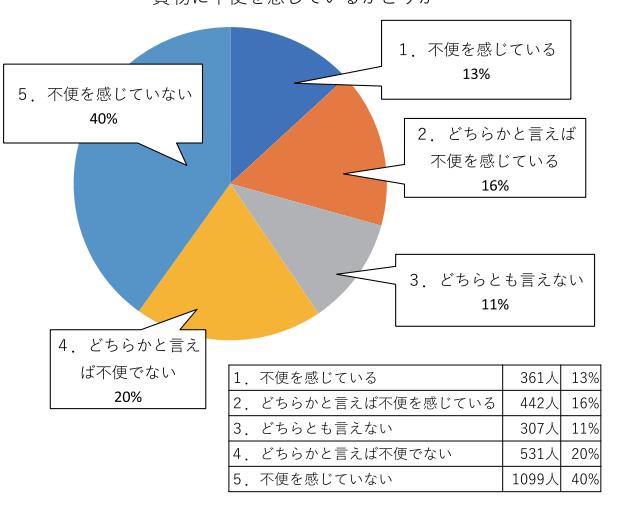
【配布枚数】

6,136世帯
2,800枚（有効回答者数2,789枚）
(回収率45.6%)

買物に不便を感じているかどうか（全体）

29%の人が買物に不便を感じている。

買物に不便を感じているかどうか



アンケートの詳細については、福崎町商工会ホームページ
<http://www.fukusaki.or.jp/> をご覧ください。



株式会社肥野ストア

住 所:〒679-2214
神崎郡福崎町福崎新203-1
T E L:0790-22-0135
営業時間:9:00～19:00
定 休 日:年中無休

1／豊富な品揃えの店内 2／移動販売準備をする肥野大作店長 3／“移動スーパーふくふくまる”での販売の様子 4／店舗外観

商工会活用事例

商工会を上手に利用されている会員事業所に
活用事例をご紹介いただきます。

商工会を通して地域貢献型企業として発展し続けます



株式会社マルフク
後藤優佳さん

住所:〒679-2214
兵庫県神崎郡福崎町福崎新148
TEL:0790-22-0290

年間その福崎愛は受け継がれてきました。私は今年4月に4代目代表取締役社長として就任しましたが、その覚悟と自信は商工会での様々な経験が後押ししてくれました。

私は平成14年にサラリーマンから当社へ常務として入社し、大きな環境の変化に戸惑うばかりでした。当時は経営者という言葉を重く感じておりましたが、商工会の青年部に入部し、同じような若い経営者と出会いや、お互いに切磋琢磨していく内にだんだんとそれ相応の重さになり、経営者という言葉を前向きに捉えられるようになつていきました。特に

当社は、ちょうど百年前の大正7年（西暦1918年）に、私の曾祖父の後藤伝蔵が福崎町駅前で丸福鉱泉として創業しました。社名の一文字の『福』は福崎の『福』ということで曾祖父は福崎町をとても愛しておりました。

創業当時は『丸福サイダー』の製造を行っていましたが、時代の移り変わりとともに製造を廃止し、酒類卸売業を行うようになり、現在では賃貸住宅業も行つております。



1



2

最近では商工会主催の福崎繁盛ゼミナールなどのセミナーにも参加させていただき、経営者として身につけるべき新たな“気づき”をいただきました。今後も福崎町の一つの企業として地域貢献できるよう、商工会の活用を通して地域と顧客になくてはならない企業へ発展し続けていきたいと思つております。

1／商品がずらりと並ぶ倉庫 2／会社外観

経営者としての新たなステップへ

福崎町商工会では、4年前から中小企業大学校関西校と連携して福崎繁盛ゼミナールを開催しています。今年も8月、9月とセミナーを開催して20名の方に受講していただきました。講師は、私が兵庫県商工会連合会勤務時にお世話になった津田弘一チーフアドバイザーで、業務効率化や組織活性化をテーマに講義していただきましたが、最新の経営情報や施策の話も盛りだくさんで、受講生のアンケートでは満足度の高いセミナーとなりました。

また、講義終了後に4班に分かれてダーシップに大きく貢献しています。株式会社マルフクの後藤優佳氏は、グループディスカッションを行い、同じ講義を聞いても人によって、これまでの経験や立場の違いにより受けとり方が違つたりするため、他の受講生の話を聞くことは新たな気づきや経営を考える上で大変参考になつています。弊社マルフクの後藤優佳氏は、グループ討議では、自らリーダーを務め、受講生の意見を取り纏め積極的に発言も行っています。人前で話をしたりリードダーシップをとるためにには、経験する場がないと、なかなか身に付かない事ですが、商工会の事業が役に立つているとお話をいただいた事はとてもありがたいです。

商工会では様々な事業を行つております。活用方法も様々です。ご商売をされている皆様には、商工会に加入して積極的に活用していただきたいと思います。



担当者から一言
福崎町商工会
事務局長
木村 真一

青年部だより

部長……大野 健貴
部員数……45名

7月に西日本を中心に記録的な豪雨災害がありました。兵庫県青連は特に被害が大きかつた隣接する岡山県に対して被災地での支援活動を実施、当青年部においても後藤健廣さん、山下智史さん、多田智信さんが、同月27日に支援に参加しました。支援先の真備町では主に瓦礫撤去作業を一日掛けを行い、被害の大きさを改めて実感しました。

8月9日の夏まつりでは協賛事業として出店しました。毎年のスーパー博覧会で、フルトに加え、今年は「オムレツドッグ」を出店。パンに鶏肉、炒めた野菜を挟みトマトソースをかけたイタリア風味のこだわった商品で大変好評でした。

8月22日には商工会員の皆様も参加可能な企業見学（コニカミノルタジャパン株関西支社）を行いました。

同社は「働き方改革」に取り組んでおり、中でも保管文書ゼロ化への取り組みは非常に参考になりました。営業職が「紙」場所に縛られる働き方であったこと（見積書の作成等で遅い時間でも事務所に帰らなければならぬ）傾向にあり、事務所移転をきっかけに変革を実施。紙文書の削減、電子化に努めました。

しかし最初は大幅に削減できても、10か月後には25%リバウンドしてしまったとのこと。紙の削減に焦点を絞りすぎたと同社は判断。そこで仕事のフローそのものを見直し、紙文書の利便性は肯定しつつ保管文書ゼロ化を実践し86パーセントの削減に成功されました。同社担当者の様々な取り組みの説明に聞き入る参加者の姿が見受けられました。



2



1

1／被災地での支援活動

2／8月22日 企業見学（コニカミノルタジャパン株関西支社）

女性部だより

部長……足立 泰子
部員数……40名



3



4

7月18日（水）、福崎町商工会女性部員の山下さんが講師となり「手芸（ポケットトポーチ）講習会」を開催しました。15名と多くの方が参加されました。講師から作業手順の説明があり、作業に入りました。最初はどこから取り掛かってよいものかと隣同士で話し合いながら始まりました。段々と作業にもなれ完成に近づくにつれてお互いに教え合いながらスムーズに進んでいきました。部員同士の交流も深まり素敵なお手芸が完成しました。



5

8月9日（木）、福崎夏まつり事業に出店。『おふくろの味』でお馴染みのおでんと冷たい飲料の販売を行いました。今年から『温かいおでん』を提供することにしたため、昨年の本数よりも少なく準備していましたが、沢山の方に購入して頂き1時間で完売することができました。ありがとうございました。

今後の事業は、産業祭に出店し、『もちむぎお好み焼き』を販売します。活動に参加してみませんか。詳しいお問い合わせは商工会までご連絡ください。

3／手芸教室

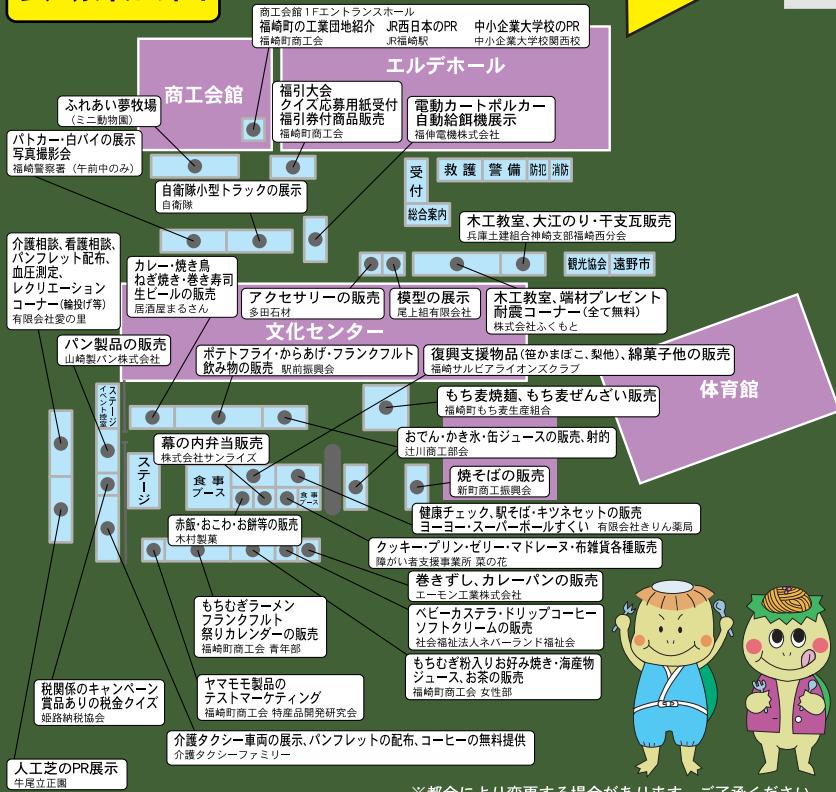
4／ポケットトポーチ

5／8月9日 福崎夏まつり

産業祭のご案内

産業祭日時
平成30年 11月 4日(日) 雨天決行
…午前9時～午後3時…
今年は兵庫県・福崎町・(公社)兵庫県緑化推進協会が主催する「ひょうご森のまつり」と同日開催！！！(いつも以上にイベントが盛りだくさんとなっています)

会場案内図



AREA MAP



【文化センター駐車場】屋外ステージイベント

※進行状況により時間を変更する場合があります。

オープニング挨拶 (9:30~9:45)

和太鼓演奏 (13:00~13:20)
(NPO法人 和樂)

トランポ・ロビックス (13:25~13:45)
(姫学こども園)

漫才 (13:50~14:10)

閉会挨拶 (14:15~14:20)

謝恩抽選会 (14:20~14:45)

中小企業大学校関西校

実践的な研修で、中小企業の人材育成を支援します！

中小企業大学校では、中小企業の“人づくり”的ため、中小企業の経営者・管理者等に対する高度で専門的な研修を実施しています。

1980年の開校以来、延べ1万社、約5万人の中小企業の皆様にご利用いただいております。

◆豊富な研修コース

実習・演習、グループ討論などの手法を取り入れながら、必要な知識・能力を身につけられるコースを豊富に取り揃えております。

◆公的な助成制度が利用可能

国の「人材開発支援助成金」や各県、市町村などの公的助成制度が利用できます。

なお、掲載した内容に変更が生じる可能性があります。最新情報につきましてはホームページ等でご案内いたしますので、ご確認ください。

おすすめコース

コース名	実施期間	定員	受講料
次世代トップリーダーが学ぶ経営力強化講座	H30.10.30(火)~11.1(木) 3日間	25名	31,000円
真の顧客満足につながるサービス価値向上講座	H30.11.6(火)~11.7(水) 2日間	30名	22,000円
顧客からの信頼を高める品質管理の進め方	H30.11.19(月)~11.21(水) 3日間	30名	31,000円

■お申込・お問合せは

中小機構近畿
〒679-2282 兵庫県神崎郡福崎町高岡1929
TEL:0790-22-5931 FAX:0790-22-5942
E-mail:kenshu-kansaiko@smrj.go.jp



関西校 でご検索ください

検索